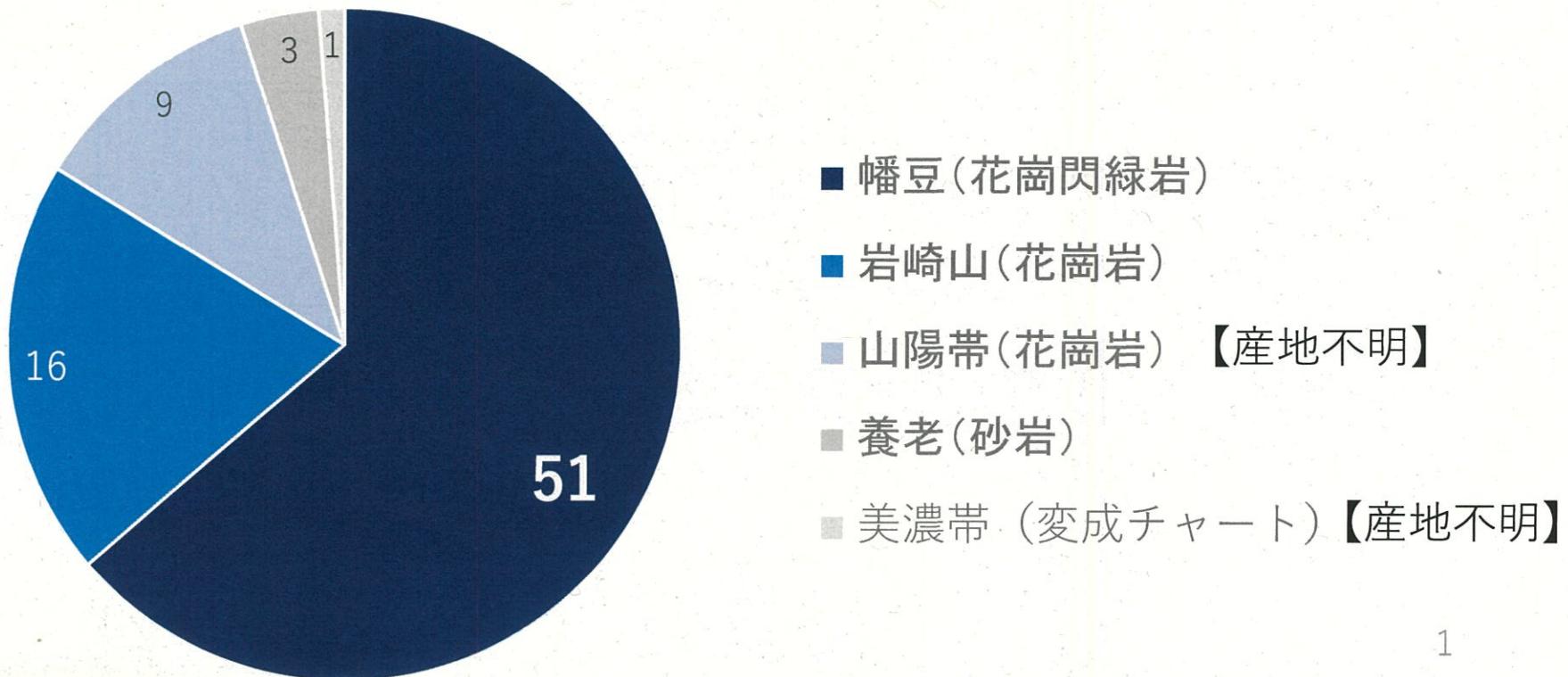


新補石材に関する調査報告

これまでの経緯

●再利用不可石材の産地（積直し基本計画(R4.3)抜粋）

- 石材の再利用判定の結果、解体した4,393石中、80石程度が再利用不可と判定された。再利用不可となった石材は、新補石材に交換する。



新補石材に関する調査報告

これまでの経緯

●産地選定の基本方針（積直し基本計画(R4.3)抜粋）

- ・新補石材は、交換する石材と同じ産地、石質のものが望ましいが、築城当時の産地は市街化や採掘状況の変化により産出が困難な産地が多い。
- ・近隣にて同様の石質のものが産出可能な産地から調達することを基本として検討する。
→築城期の調達先のほか、幡豆石に石質がよく似る恵那産や豊田産花崗岩の使用を検討。

上記に基づき、調査を行った。

新補石材に関する調査報告

- 調査地域：恵那地域（岐阜県中津川市）
- 石材名称：蛭川みかげ石
- 特徴：
 - ①完全受注生産（サイズは自由）
 - ②十分な採掘量
 - ③色味・風合いについて高い自由度

特徴①完全受注生産

①完全受注生産（サイズ・色味は自由）

- ・石材は、受注後採石場からの切り出しを行う。
- ・サイズ・色調のオーダーが可能。
→築石にも十分対応可能



写真1 モニュメント(幅8m×奥行4m×高さ5m)

特徴②十分な採掘量

②採掘量も十分

- ・国内 2 位の採石量を誇る
→継続的な購入も問題ない



写真2 採石場 遠景

特徴③色味・風合いについて高い自由度

③色味・風合いについて高い自由度

- ・白色、褐色、白褐色混ざりの色味を併せ持つ。
- ・石目の大きさの違いで、粗目、小目、中目と分かれる。
- ・完全受注生産につき、色味のオーダーが可能。
→既存築石に近似した色調に努める事も可能

特徴③色味・風合いについて高い自由度



写真3 蝋川みかけ石サンプル①(写真左:全景、写真右:近景)

特徴③色味・風合いについて高い自由度



写真4 蝶川みかけ石サンプル②(写真左:全景、写真右:近景)



写真5 蝶川みかけ石サンプル③(写真左:全景、写真右:近景)



写真6 蝶川みかけ石サンプル④(写真左:全景、写真右:近景)